

会 議 録

1. 会議名

第2回仙北地域協議会

2. 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域枠予算について（公開）

(2) その他（公開）

平成18年度仙北地域主要な事業について

自治会支援補助金制度について

地域協議会とこれからの地域活動について

3. 開催日時

平成18年7月26日（水）午後7時より

4. 開催場所

仙北庁舎中会議室

5. 傍聴人の数

1人

6. 出席したものの氏名

委員：池田佐喜男、熊谷政子、黒澤三郎、池田武、大澤隆夫、小林千歳、
小松田有佳、小柳都、佐々木忠雄、佐藤昇、佐藤力哉、進藤豊和、
進藤勇吉、竹村正資、千葉嗣助、戸澤龍悦、原松男、茂木保治

（委員18名全員の出席）

仙北総合支所：根本支所長、高橋地域振興課長、藤原市民課長、鈴木農林振興課長、
佐藤建設課長、小松教育分室長、小松文化財保護課長、健康増進センター
仙北分室塩谷主幹、竹村市民課参事、熊谷地域政策考査員、
地域振興課田口副主幹、同寺村主任、同池田主事、同熊谷主事

7. 発言内容

地域振興課長

【開会】

第2回仙北地域協議会の開会を宣言

本日は大変お忙しいところまた夜分お集まりいただき有難うございます。本日の地域協議会は委員の2分の1以上が出席しておりますので、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第9条第3項の規定により本協議会は成立いたしますことをご報告申し上げます。

会 長

【会長あいさつ】

皆さんこんばんは。日中の仕事お疲れのところ、遅くに集まっただけで大変有難うございます。2時間の長丁場ですが活発なご意見よろしく願いいたします。最近の日照不足により稲の生長にも影響があるとおもわれるので、なんとか天気を持ち直していただきたいと思います。それから、先月の25日(日)『ドンパル』を会場に「協働のまちづくりをめざして」というシンポジウムが開かれました。東大名誉教授の大森彌先生の講演の後、3部会に分かれて会議をしました。大森先生の講演の中で職員の方の中には耳の痛い事もあったかもしれませんが、抜粋させていただきます。総合支所の一職員は地域の協議会または街づくり委員会と共に街づくりをしていく役目がある。職員としていきるためにも住民とともに企画立案をする能力が求められている。実際どのようにしていけばいいか、職員の方は悩むかもしれませんが、本庁に聞かないで自分達で考えるとおっちゃんしていました。職員の方には耳の痛いことかもしれませんが、先生のお話を聞いて、この地域協議会の考え方がよくわかった次第であります。また、会議を通じて各地域協議会の考え方がまちまちであることも確認出来ました。この講演会に参加された委員の方、職員の方も本日の協議会から新たな考え方、立場で協議できるのでないかと思います。それでは9時ころを目処に進めてまいりたいと思います。よろしくお願い致します。

支所長

【支所長あいさつ】

本日はご苦労様でございます。今日は第2回目の会議ということでお集まりいただき有難うございます。梅雨時の蒸し暑い時期にもかかわらず本日は秋風の様な涼しさでございます。皆様には前回6月13日に第1回の協議会でお話しいただき、その後、6月25日には委員研修会として大森先生の講演会が開催され、大変お疲れさまでございました。今年の23日は暦の上では大暑となっております、土用の丑の日でもあります。今年の場合、土用丑の日が2日あります。8月4日も丑の日でこの日を二の丑と言うそうです。丑の日に鰻を食

べる習慣の由来については諸説があるようですが、讃岐の国の出身の平賀源内が発案したというのが一般的な説だそうでございます。古くは万葉集には大伴家持が夏痩せをしている友人に鰻を食べよう詠んだ歌があるように、相当古くから鰻の効用は知られていたようです。鰻にはビタミンB類が豊富に含まれているため、夏バテ、食欲減退には効果的で、そういった面から見ましても、夏のこの時期に鰻を食べることは実に理にかなった習慣と言えるようです。皆様もスタミナをつけられたでしょうか。さて、話は変わりますが、今日の第2回目の案件は、御案内のように地域枠予算について、それから実施計画について、柵の湯の運営状況などありますが、この件につきましてご協議下さるようお願いいたします。また、この仙北地域内における工事中の事業について大まかに申し上げますが、8つ程ございまして、板見内地区の集落排水事業、それから仙北ふれあい交流事業、これは第4駐車場として野球場正面の西側に現在、造成中でございます。それから、仙北45号線の道路整備事業としてタニタハウジングの前を舗装工事することになっております。4つ目といたしまして市道の復旧工事事業です。こちらは盆前には完了予定でございます。それから仙北46号線天ヶ沢地域の道路でございます。ふれ文の前の道路の橋の工事があり、その関係で迂回路となっておりますが、その周辺の整備事業であります。6番目として県営の土地改良事業一般農道の中央3期ということで、これは現在の向川寺の前から北の方に向かいまして広域農道東西線につける道路でございます。7点目として西地区の圃場整備事業でございます。現在、盛んに工事が進んでおります。8番目として、県道大曲千畑線通称板見内線の改良工事でございます。

その他といたしまして、柵の湯の隣にあります児童遊泳プールでございます。点検したところ非常に老朽化が激しく、地盤沈下によりプール本体が傾いた状況であります。東側と西側で32センチメートル程差がでてきている為、今シーズンは休止せざるを得ないという状況となっております。当初、プールを新築する計画は22年までの前期計画には盛り込まれなかった経緯がございましたが、本日、市長と協議したところ、早急に適地を選定し、新年度に向けて整備計画を検討することとなりました。

また、今日の魁新聞に18年度の交付税についての記事がありましたように、半数以上の市町村で減少し、大仙市は前年比2.1%の減で、178億1300万円と決定になったようです。県では、「交付税の厳しさは今後も変わらないので、引き締めていかなければならない。」とコメントしておられましたが、依然として厳しい財政事情のなかで、仙北地域をどのように方向付けできるのか、また、必要不可欠なものは確保していかなければならないと存じてますので、委員の皆様方からもなお一層のお力添えをお願い申し上げます。

最後になりましたが、委員各位が夏負けされませんようご留意の上、健康で益々ご活躍くださいますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

地域振興課長

それでは会議録の署名員の指名をお願いします。

会 長

会議録の署名員をご指名いたします。千葉嗣助委員、黒澤三郎委員をお願いいたします。会議を始める前に小松田委員より若干遅れるという連絡がありましたので、議事にはいりたいと思います。

(1) 地域枠予算について事務局より説明をお願いいたします。

田口副主幹

【資料によりNo. 8について説明】

会 長

それではNo. 8について何かご質問はありませんか？

進藤(豊)委員

駐車場の維持管理が楽になるし、利用者が利用しやすくなります。ただ、会館を建設する際に補助金を頂いて建設した経緯がございますので、その兼ね合いで問題がなければお願いしたいのですが。

会 長

以前は会館の下水などの整備の補助金があったと思うが現在もその事業はあるのか？

田口副主幹

現在も会館の建設整備の補助金の制度はございます。その事業には駐車場の舗装などは該当しませんので、重複することはございません。

会 長

わかりました。他にご意見ありませんか。
ないようですので、続いてNo. 9についてご説明願います。

田口副主幹

【資料によりNo. 9について説明】

会 長

他の支所の地域協議会では委員の視察研修などを実施しているようです。

池田委員

これからは地域づくり、自治会づくりが大変重要となってくるので、講演会等の研修会は意識を高めるために大切です。
事務局に講演会の講師の予定について伺います。

田口副主幹

計画としまして、地域づくり専門の大学の教授を予定しているところ です。

池田委員	8月の講座については、講師は決まっていますか？
田口副主幹	協議会へお諮りしていませんけれども、内々に調整中です。
黒澤委員	講師のリストアップはしていますか？
熊谷考査員	<p>予算を組む段階で検討させていただきました。宮城大学、同志社大学、高崎経済大学の地域づくりに精通されている教授をお招きした場合を想定して見積もりさせていただきました。予算でございますので変更等あるかと思えますけれども、この予算で進めてまいりたいと思っております。</p>
進藤（豊）委員	<p>大変良いことだと思います。現在、仙北地域ではきちりとした自治会、町内会組織はまだまだできていない状況です。特に戸地谷地区においては、新築を建て引っ越ししてきた方やアパートへ引っ越ししてきた方は町内会に入らない方もいます。町内会の悩みの種です。そう言った意味でも、協議会委員の他にも各自治会会長、役員の方にも参加してもらいたいと思います。</p>
副会長	<p>私個人としては、各地域の協議会委員間の交流も実施していただきたいです。意見交換することによって、同じような悩みを抱えているかもしれないし、自分達の新たな課題が見えてくるかもしれないという意味を含めて、今後検討していただければと思います。</p>
熊谷考査員	<p>本庁予算として、各地域二十万円の研修費を計上しています。具体的な内容はまだ決まっておりませんが、案といたしまして太田・中仙・仙北地域の協議会委員を一堂に会して講演会を実施後、討論会をしたいと考えております。委員の他にも自治会役員、職員、住民にも広く周知する予定でございます。</p>
会 長	<p>これからこの地域を担っていくためには、横の繋がり各地域との繋がりも必要になってくると思います。 次ぎにNo. 10についてご説明願います。</p>
田口副主幹	【資料によりNo. 10について説明】
池田（佐）委員	<p>『ほたるの会』は払田柵跡を訪れる観光客を案内しているボランティア団体です。払田柵跡は実際に建物があるわけではないので、観光客の方にイメージしてもらわなければなりません。よって案内人が必要ではないかということから発足しました。</p>

以前は町の方から、現在は市の方から補助金をいただき、そして会員から会費を二千円ずつ頂戴して運営しています。池田邸の公開により年々観光客が増加傾向にあり、一目で案内人とわかるよう服装を統一したいと考えていました。

佐藤委員

予算が控え目なので増額した方が良いと思います。

小柳委員

観光客に喜んでいただけるなら賛成です。

茂木委員

『払田柵跡』近くの県埋蔵文化センターとの連携はとっていますか？

池田（佐）委員

埋蔵文化センターは県の施設で全県の資料があり、その一部として払田柵の資料も展示しています。ガイドンスに展示している資料と交換することもあります。小学生などは『払田柵跡』を見学した後に、埋蔵文化センターで原始的な火熾しなどの体験学習を行っています。

会 長

ガイドンスのパンフレットは古く、新に発掘された物については更新されていない状況なので、そのことも加味して作成してもらいたいです。

池田（佐）委員

現在のパンフレットは会の発足時に集めた会費によって作成された物です。今年度中に在庫がなくなると思います。来年からは新に発掘された物についての情報を採り入れるために2年間毎に3,000部ずつ作成していきたいです。

会 長

それでは(2)大仙市総合計画仙北地域実施計画について事務局より説明願います。

熊谷考査員

【資料1により説明】

進藤（豊）委員

26ページの仙北ふれあい公園事業費の中の体育館建設についてですが、以前、市長が見えられた時、使用する人が使いやすい施設を作る為に意見を聞いて設計してもらいたいということでありました。今年度設計に入るとのことですが、設計に入る前に意見を聞く場を設けてもらいたい。

佐藤建設課長

いかに効率の良い体育館を建設すれば良いか関係機関と協議することを、ここで約束いたしました。先般、県内四箇所の体育館の視察に行きまして。初めての体育館建設ですので競技団体や関係機関

	<p>の意見を聞き、設計に反映させていきたいと思っております。</p>
進藤（豊）委員	<p>なるべく関係者の意見が反映されるようにしてもらいたい。</p>
佐々木委員	<p>8ページの旧町民体育館改修事業についてですが、22～24年度までの事業ということですがその間は使用不可能ということですか？</p>
小松分室長	<p>22年度については実施設計、23年度は屋根・外壁改修ですので使用ができると思います。</p>
会 長	<p>24年度に床を取り外して人工芝にするということですが、人工芝にするに至った経緯を教えてください。</p>
熊谷考査員	<p>合併前の当初実施計画にのっていた事業であります。多種競技を行えるように人工芝にしたと考えております。あくまでも現在の計画ということですのでご理解下さいますようお願いいたします。</p>
会 長	<p>では（3）平成17年度史跡の里交流プラザ柵の湯運営状況報告について事務局よりご説明をお願いします。</p>
熊谷考査員	<p>【資料2により説明】</p>
原委員	<p>現在、一般客は午前9時以降でないに入浴出来ない状況であります。夜勤明けの方や早朝に入浴したという方も多く見受けられる中で大変不便な状況であるので入浴時間の変更をお願いしたいと思っております。</p>
熊谷考査員	<p>宿泊客にゆっくり入浴していただきたいということで一般客に開放していないという状況です。今のご意見を頂戴いたしまして検討させていただきますと思います。</p>
小林委員	<p>町外の利用者はリピーターが多いのですか？</p>
熊谷考査員	<p>柵の湯にいらっしゃる方はリピーターが多いようでございます。</p>
熊谷副会長	<p>営業努力は町内の利用者に向けるべきだと思います。町外の方が喜んで利用して下さっているのにもかかわらず、地元の方の利用者が3割という情けない結果となっているので努力をしてもらいたいです。</p>
熊谷考査員	<p>今後努力して参りたいと思っております。</p>

進藤（豊）委員

資料とは関係ないのですが、柵の湯は天然温泉ですよね？天然温泉だとすれば常にお湯が流れているイメージがあるが、たまたまお湯が出ていない時間にあたる時があります。お湯を汲み上げて流しているのか？お湯を流す時間が決まっているのかどうか？教えていただきたい。

熊谷考査員

源泉の湯量の関係でかけ流しのような状態はできないということで、湯量が少なくなった場合にお湯が出てくる形となっております。循環ポンプについてですが、数年前にレジオネラ菌の関係で止めた経緯がございます。

茂木委員

柵の湯の排湯管が水路を横断している箇所にゴミがひっかかっている。柵の湯のお客と限らないがゴミを捨てて行く人がいるようだ。そのゴミによって水位があがってきて近隣の田の所有者が困っている状況です。

熊谷考査員

現場を見させていただいて検討させていただきます。

会 長

時間のほうが9時を過ぎましたが、時間を延長してよろしいですか？

【異議なし】

大澤委員

収支比較表の収入の部の入湯税申告額（参考）とあるが（参考）とは何を表しているのか？

熊谷考査員

入湯税そのものにつきましては、柵の湯で納めている額であって収入とはならない訳でございます。参考までに柵の湯で納めている額を載せさせていただきます。

大澤委員

16年度から17年度にかけて入湯税が大幅に増えているのはなぜですか？

熊谷考査員

合併前までは公衆浴場的要素が強いということで、入浴だけのお客様についてはいただいておりますませんでしたし、納めてございませんでした。しかしながら、本庁税政課の方から税制法上適正でないという指摘を受けました。よって17年度からは入浴だけのお客様についても入湯税をいただいた為大幅に増加したわけです。

大澤委員

関連ですが、宴会で利用する際に宴会の席に入浴無料券が配られているわけですが、入浴した場合は料金が加算されるのか？また、

その場合の入湯税はどのようになっているのか教えていただきたい。

熊谷考査員

券につきましては、柵の湯の販路拡大のためのサービスということで発行している券でございます。その券で入浴した場合も入湯税は納めることになります。

大澤委員

その無料になっている部分はどこから補っているのか？

熊谷考査員

利用料からです。

会 長

無料券のサービスによって入湯税を負担しなければならない。ますます赤字がふくらんでいく。したがって少なくとも入湯税はいただいて券を発行したほうが良いと思う。経営上、サービス券という考え方は根本的に考えない方が良いと思う。これまでサービス券を利用された方が何人いて、その分の入湯税をいくら支払っているのかのデータを用いて検討すべきだと思います。

千葉委員

合併前に運営委員会の委員をやっていた。運営、献立の問題を検討していた。現在、一番心配なのは嘱託職員、パートが多く、料理長一人だけ市の職員で支配人が嘱託職員である点です。職員の心理状態からいくと営業・接客態度の改善までは手がまわらない状況ではないかと思えます。これから誰が経営の主体になっていくかが課題だと思います。合併前同様に柵の湯専門の委員会があってもいいのではないかと思えます。

高橋地域振興課

四月から施設長ということで拝命を受けておりますけれども、その中で実態を把握するために月に一回支所長、私、考査員、担当の佐藤、支配人の大西、竹村と月例会を開いております。アンケートの結果を基に課題を検討しております。特に料理面については突っ込んだ内容の話をしておりますので、もう少し時間をいただければと思えます。大仙市でも直営施設と第3セクター施設を合併しようとする動きがあります。議員の方々の特別委員会、それに対する推進協議会等あります。その中で本庁と協議しながら経営の問題等が出てくると思えますので、少し時間をいただければと思っております。

会 長

議事はこれで締めて宜しいでしょうか？

池田（佐）委員

いろいろ意見がでましたけれども、私の友人が泊まった時言っていた良い面を申し上げたいと思えます。柵の湯に連泊した時に1日目2日目の料理が違って大変良かったと言っておったし、フロントの

接客態度が非常に好感がもてると言っておりました。ただひとつ検討していただきたいのは、収入を多くするためには宴会、宿泊だと思えます。その宴会の際に食堂のメニューのラーメンなどを宴会場で食べられるようにしてもらいたい。

会 長

今後の検討課題としていただきたいと思います。あくまでも経営というのはお客様の視点で考えていかなければならないと思います。予定していた議事が終了いたしました。他に何かご意見ある方いらっしゃいますか？

進藤（勇）委員

時間が遅くなってから大変申し訳ありません。私のところへ戸地谷南部の7集落の代表が連名で市長と議会に要望書を提出することを検討しているとお話がありました。内容について聞いたところ、戸地谷南部の都市計画の策定と緑地造成について要望したいということでありました。このことを地域協議会の議題として取り上げていただきたいというお願いでしたので、私からご提案を申し上げたいと思います。その内容を見ていただいてから皆さんからご検討していただければと思います。

会 長

今その要望書はお持ちですか？

進藤（勇）委員

皆さんがよろしければ配布したいと思います。

会 長

時間も遅くなりましたので、要望書のコピーを資料として出しておいただき、了解していただければ次回の協議会へ議題としたいと思いますが、いかがでしょうか？

【資料配付】

進藤（豊）委員

システムとして何日か前に事務局へ案件を提出し、協議会の議題としているはずだ。そうしなければ、その他の部分に議題が盛り込まれてきて会議にならないので、委員が個々に案件を出す場合には、事前に提出するべきだと思う。

会 長

皆さんがよければ、皆さんから内容をしってもらった上で次回の議題とすれば円滑に話が進むと思う。協議会の委員は議題をあげるとともに市民の方も協議会に対して意見を提出できるシステムだと思います。

千葉委員

会館の舗装との関係はありますか？

会 長	ないです。 次回に協議するという格好でよろしいですか？
副会長	約束事があったのではないですか？事前に事務局に提出していれば構わないと思う。
高橋地域振興課長	事務局案として提出することでよろしいですか？
会 長	案件を提出するシステムがあるので、それにしたがって改めて提出してもらおう。
熊谷審査員	進藤（勇）委員の提案ということで取り扱わせていただきたいがよろしいでしょうか？
千葉委員	これは事務局から出た案件なのか？
会 長	進藤（勇）委員が川前南部地区に依頼された案件です。 それでは議事を閉じます。6のその他です。何かございますか？
熊谷審査員	大森先生の講演会の会議録が届いております。後日委員の方々に送付いたしますのでよろしくお願いいいたします。
会 長	有難うございます。以上で第2回地域協議会を閉じます。

この会議録の記載が真正であることを保証するためここに署名する。

仙北地域協議会署名委員

仙北地域協議会署名委員
